

バリアフリーについて

バリアフリーとは？

障害のある人が社会生活をしていく上で障壁(バリア)となるものを除去するという意味で、もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去をいうことが多いが、より広く障害者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。

障害者基本計画(平成14年12月閣議決定)

ユニバーサルデザインとは？

バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア(障壁)に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方

障害者基本計画(平成14年12月閣議決定)

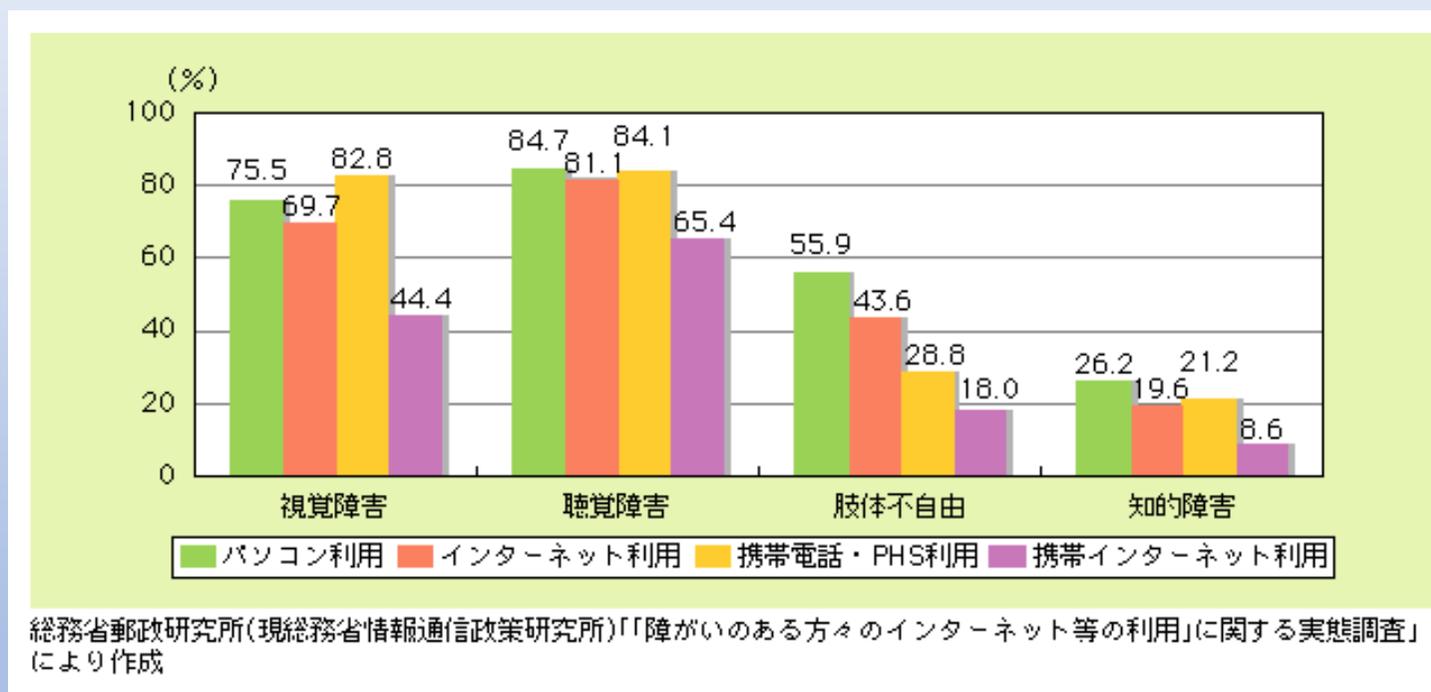
バリアフリーとユニバーサルデザインの違い



対象者の違い

バリアフリー 高齢者や障害を持つ人が主な対象
ユニバーサルデザイン 基本的に全ての人を対象

障がいのある方々のインターネット利用率



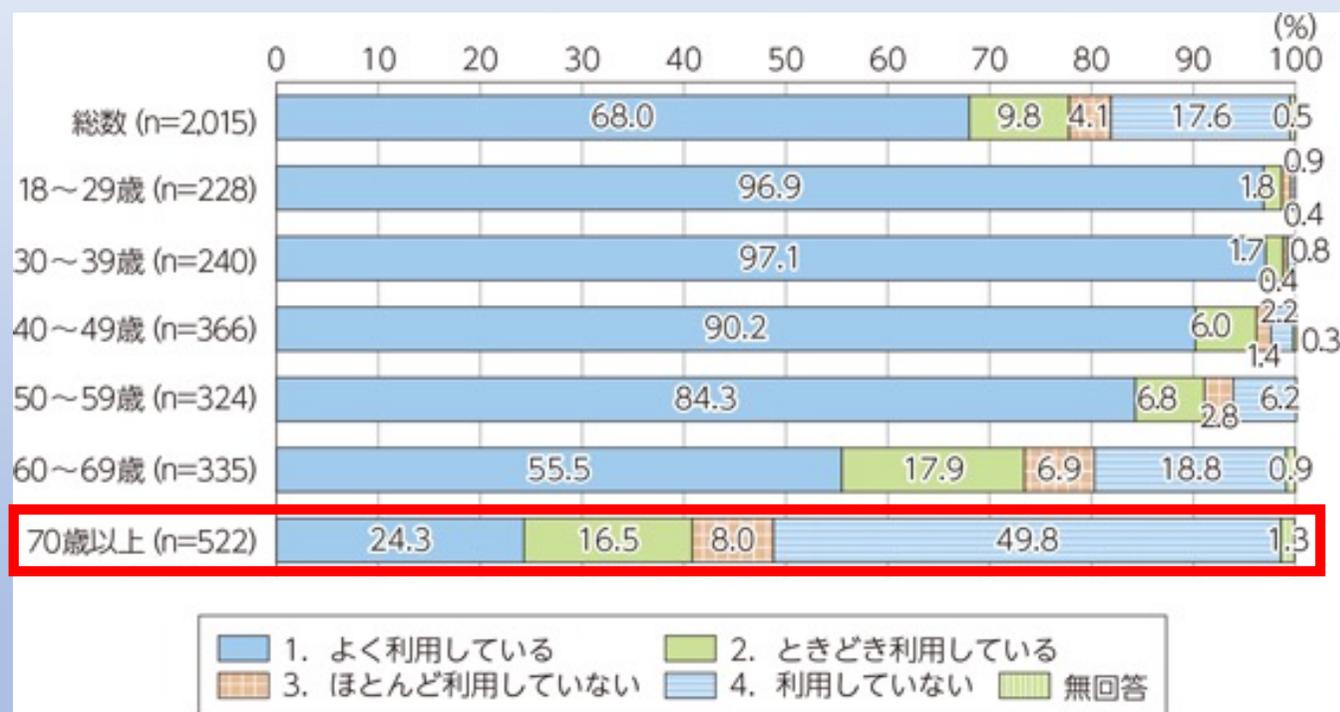
平成13年度末における障害別の情報通信機器・インターネット利用率
(東京都内在住、16～49歳対象)

使いやすくするには

視覚障害者	スクリーンリーダー(読み上げ機能) 点字ディスプレイ
聴覚障害者	字幕付き動画
肢体不自由者	キーボードの設定変更 特殊な入力装置・支援ソフトの利用

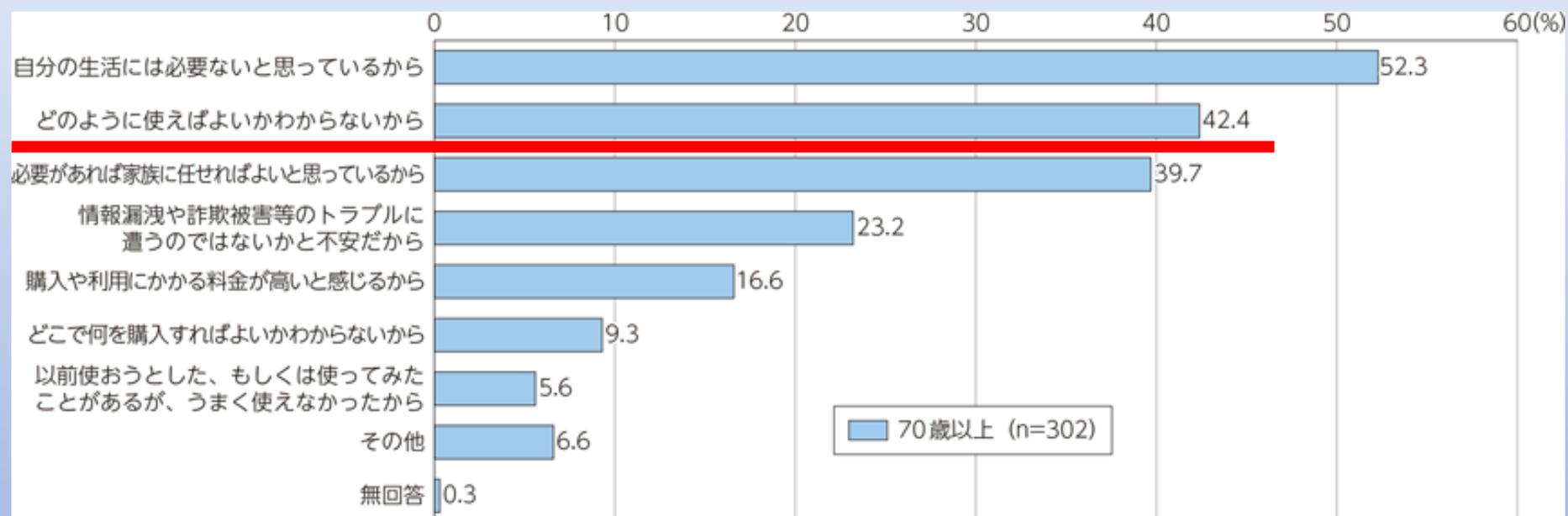


スマートフォンやタブレットの利用状況 (年齢別)



(出典)内閣府(2020)「情報通信機器の利活用に関する世論調査」を基に総務省作成

スマートフォンやタブレットを利用していない理由(70歳以上)



(出典)内閣府(2020)「情報通信機器の利活用に関する世論調査」を基に総務省作成

使いやすくするには

- 操作が分かりやすく簡単なもの
- 文字が入力しやすいもの
- 画面の字が大きく見やすいもの
- 高齢者向けパソコン教室に参加する



まとめ

誰もがインターネットを利用できる時代
簡単に利用することができない人たちがいる
⇒色々な人が使いやすくなるようにサイトを作る側も工夫をした方が良い



参考にしたサイト

総務省 [総務省 \(soumu.go.jp\)](https://soumu.go.jp)

毎日新聞 <https://mainichi.jp/universalon/etc/key.html>

[障害者・高齢者がウェブを利用するときの問題:みんなのウェブ \(nict.go.jp\)](https://nict.go.jp)

ご清聴ありがとうございました！